

cherry chill will. 写真家

平成最後の年、2018年夏。ここ八戸ブックセンターで写真展を開催させていただきました。僕の最初の写真集リリースを記念したもので地元凱旋と言うと大袈裟ですが生まれ育ったこの八戸での開催は僕にとっても、八戸の仲間達にとっても大きく、HIP HOPというカルチャーに10代から本気で取り組んできた僕達にとって、意義と価値を証明できた日々だったように思います。そんな舞台を用意し、僕の無茶苦茶な提案も受け入れ、表現する事を許し喜んでくれた八戸ブックセンターの皆様には感謝しかありません。

HIP HOPカルチャーには「自分のフッドをリプレゼンする」＝「生まれ育った地元を代表する」という理念があります。この街に嫌気がさし、飛び出すように上京した僕は八戸出身を誇ったことは殆ど無く、上京してから20数年、数える程度しか帰郷していなかったこともあり八戸という街や人々に対する想いは薄れ、むしろ部外者的に思っていた所がありました。

しかし、そんな少し斜に構えた僕の心を溶かしてくれたのは八戸ブックセンターの方々であり、八戸の仲間達、サポートしてくれた街の皆さん、来場してくれたお客様達…そう、八戸のみなさんでした。僕の壮大な自己満足的写真展を大きな大きな愛で迎え入れ、一緒に楽しんでくれたあの日々があった事でそれまで以上に、「青森/八戸をリプレゼンするHIP HOPフォトグラファー」として活動するようになりました。忘れていた遠い記憶と想いを蘇らせてくれた事、HIP HOPカルチャーの大事な理念を再度思い起こしてもらえた事は一生忘れる事のないとても大きな宝物の日々となりました。

そしてあの暑い熱い夏の日々を越えるべく写真を撮り続け、新たな写真集を制作し、皆に驚きと感動を届ける展示表現を熟慮して、また八戸ブックセンターで開催できたらと思っています。東京でも海外でも観れない、僕と八戸ブックセンターでしかできないスペシャルな事…やっちゃいましょう!

cherry chill will.

写真家

「RUFF, RUGGED-N-RAW -The Japanese Hip Hop Photographs-」(2018)

「本で旅をしよう。」(2020)

1978年八戸市出身。レコードショップ「CISCO RECORDS」で98年からスタッフ／バイヤーとして勤務後、2009年より本格的に写真家として活動を開始。HIP HOP、Reggaeの現場を中心に国内外のアーティスト／DJのライブを多数撮影。

